

宇野中学校・玉中学校・日比中学校 再編準備委員会 第5回総務部会 会議録（要点筆記）

- 日 時 令和7年12月18日（木）19：00～20：25
- 場 所 宇野中学校体育館 ミーティングルーム
- 出席者 ○部会委員
星島永一部会長 高藤弥々副部長 中務裕子副部長
楠戸康弘委員 福本敏子委員 加藤優子委員
栗林太一郎委員 福本泰久委員 與田由佳理委員
町野弘美委員 三澤敏之委員 石原路子委員
（欠席者：日笠桃子委員、南濱喜成委員、中塚俊道委員）
○事務局
学校再編推進課長 森真志、参事 清山智保、主査 久富香
- 傍聴者 一般 0人 市議会議員 0人 報道関係者 0人

1 開会

2 議 事（要綱第8条に基づき、星島会長が議事進行を行う。）

（1）「校歌」について

部会長： 事務局から説明をお願いします。

▶校歌フレーズ募集について

事務局： 【資料1・2】により説明

今までの協議内容を反映した募集要項と要項を抜粋したチラシを作成している。どちらもホームページに掲載し、募集を年明けに開始する。

部会長： 意見・質問はあるか。

委 員： チラシに応募期間の表記があった方がよい。

部会長： 他に意見などあるか。

（意見等なし）

部会長： それでは、学校名が正式に決まったら、事務局の説明どおり年明けに募集を開始をお願いします。

（2）「校章」について

部会長： 続いて、「校章」について、事務局からの説明をお願いします。

▶校章デザイン募集について

事務局： 【資料3・3-1・4・4-1】により説明

今までの協議内容を反映した募集要項と要項を抜粋したチラシ、現在の校章や校舎、玉野市の案内ページなどをまとめたもの、応募用紙を作成した。

こちらもすべてホームページに掲載し、学校名が正式決定した後の年明けに応募開始予定である。

部会長： 意見・質問はあるか。

委 員： チラシの記載の仕方で算用数字で表記しないとわかりにくい箇所がある。

事務局： それでは、漢数字から算用数字に変更する。

部会長： 他に意見はあるか。

(意見等なし)

部会長： それでは、学校名が正式に決まったら、事務局の説明どおり年明けに募集を開始をお願いします。

▶校章デザイン選定要領について

事務局： 【資料5】により説明

事務局案として作成している。学校名の選定要領と、選定方法については同じ流れとした。

部会長： 意見・質問はあるか。

委員： 「2 選定基準の(3)『様々な用途で』」は、具体的に示されていた方が、一般向けにわかりやすい。

委員： 校章の選定期間について、全国からの応募で商品券も出るため、応募も相当数と考えられ、慎重に選定する必要があると思うが、選定期間は何日か。

事務局： 第1次選定の期間は、約1ヶ月間程度を予定している。

委員： 校章が決まってから、それを作製する期間を考慮したスケジュールとなっているか。例えば制服など。

委員： PTA部会で校章を制服や体操服に入れるかどうかは、協議中である。

委員： 校舎や体育館などに掲げている校章についてはどうか。

事務局： 担当課に工期を確認したうえで、選定期間を設定している。

部会長： 他に意見がないので、次回にこの協議を踏まえた「校章デザイン募集要項」を示していただくことでよいか。

(一同異議なし)

(3)「閉校式」について

部会長： 続いて、「閉校式」について、事務局からの説明をお願いします。

事務局： 【資料6】により説明

閉校式典、閉校記念事業、イベントなどで行う内容について整理し、他市事例などを踏まえ、式典の開催手法によるメリット、デメリットについて資料に従い説明する。開催手法についてご意見をいただきたい。

部会長： 各委員の意見を伺う。

委員： 校舎がなくなる、入れなくなる事を考えると各校で思い出の閉校式を行ったほうがよいのではないか。

委員： なくなる学校にヒアリングなどは行うのか。

事務局： 各学校の方々の気持ちが聞けると一番よいが、なかなか難しいため、地区の代表の方、各学校からの代表が集まっている再編準備委員会で話し合っていたら、決めていきたい。

委員： 学校の負担感などはどうか。

委員： 負担感も含め、校長先生の意見がお聞きしたい。

委員： 教職員にも聞いたが、様々な意見があり、数では単独開催の意見がわずかに多く、「各校にしかない歴史を考えると単独で行う方がよい。」などの意見であった。同数程度であったのは5校の合同開催であった。鉾立小の休校式を経験した教員は「やはり単独で行うのは準備が大変だった。教職員の苦勞

が負担となった。」との意見、「教職員の負担や、公平な来賓の出席、フォーマルな形での式典を子どもたちが体験できる事、などを考えると合同がよい。」という意見などであった。

委員： 他の先生の意見も伺いたい。

委員： 単独開催を希望する意見が多かったが、閉校式を経験した職員がおらず、内容、規模感、来賓の範囲などが想定出来ない中での回答であったように感じた。

また、生徒数も少なくなり、単独では寂しい感じになってしまう。

委員： 単独、5校合同が半々であった。理由は、他校と同じような内容であるが、個人的には、フォーマルは合同で年度末に、個別で地域と交流が図れるイベントを気候のいい時期に趣向を凝らして行う方がよいと思う。

人事異動も引っ越しも今回重なるので、個々で年度末に行うのは大変である。

委員： フォーマルは学校主体で、お別れ会のようなものは、保護者、PTA、学校ボランティア、地域の方などで実行委員会をつくり、一緒にすれば負担が軽くなるのではないか。

委員： 小学校のPTAなども声かけすれば協力可能と思う。セレモニーは、5校合同でやって、各校でのイベントもすべて含めて「閉校式」という位置づけとすればよいのではないか。

部会長： 地域代表の方のご意見はあるか。

委員： 3つの手法のうち、これは絶対ないというものを特定して、残りをどうするか決めていけばよいのではないか。例えばセレモニーだけを合同で行い、お別れ会は、学校がどこまで巻き込むかを決めたらよいのではないか。

地域を巻き込めば、会議なども開かなければならず学校の先生の負担もまた増える可能性があるので、そこは学校の考えに任せたらよいのではないか。

個人的には5校合同でセレモニーをして、その後をどうするかは学校で決めてもらえばよいと考える。

委員： 部活などで学区を変えて通っている子が多くなっており、その面でも5校合同のほうがまとまりやすく、気持ちもすっきりとするのではないか。

委員： 各校で修了式の後、閉校式をすれば、校歌斉唱などいくつか省ける。

委員： 統合校3校2校での合同閉校式は、選択肢としてあるか。

委員： 顔合わせという意味合いとも言えるのでないわけではない。

委員： メリットデメリットの面からでなく気持ちとしてはどうか。

委員： 時期が修了式の前後に集中するが、5校同時期に開催する事が難しいと感じたので、閉校式は、5校合同で行い、各校独自で趣向を凝らしたイベントをする方がよい。

委員： 合同でするとなると、生徒に負担のない時期で前倒しになり、時季外れ感がでてしまうのではないか。

委員： 式典の例示にある内容であれば、負担がないので年度末に出来るのでは。

委員： 厳粛にしなくてもムービーなど流したり学校ごとのブースを作って校歌を

流すなどすればよいのではないか。

- 事務局： 式典の内容については、開催手法が決定してから今後検討する。
- 委員： 各校でお別れ会をするのであれば、5校合同で閉校式をする方が合理的だ。
- 事務局： お別れ会をするかどうかは、各学校の状況や地域との関わりなどがあるため、学校に任せることになる。
- 委員： 学校ごとのお別れ会が出来れば、閉校式は合同でという方向になるかと思うが、お別れ会の開催に対する学校の負担感はどうか。
- 委員： 個人的な意見だが、学校独自で式典をする際に大変なのが、地域や来賓にどこまで、どのように声をかけるかという点であり、教職員の負担感も大きい。お別れ会を開催するのは学校は動きやすく、時期も決めやすい。
- 委員： 同じ意見であるが、式典は学校独自では生徒数が少なく難しい。
- 委員： 各校でするイベントであれば、今までの行事に絡めて地域に参加いただけるので、忙しい年度末を避けて出来るのかなと思う。フォーマルな部分も避けられないが、両方一度には難しいので、式典は、5校合同で行ってはどうか。
- 委員： 先生方が同じ意見であれば、その方向がよいのでは。
- 部会長： それでは、宇野・玉・日比中学校の再編準備委員会の総務部会としては、「閉校式は、5校合同実施」ということでよいか。
(異議なし)
- 委員： この協議は、山田・東兎中学校再編準備委員会の総務部会でもされるのか。もし、その結果が違ったらどうなるのか。
- 委員： こちらは、合同がよいとなっているので、個別がよいという結果となってもこちらは、3校合同で行えばよいのではないか。
- 事務局： こちらの総務部会の意向が「5校合同」であれば、「合同」を重視しているので、山田・東兎が「2校合同」か「個別」を選んでもこちらは、「3校合同」ということでよいか。
(異議なし)
- 部会長： それでは、最後に今まで決めたものの他、協議しておくべき内容があれば意見をいただきたい。
(意見なし)
- 部会長： それでは、協議する内容はこれで終了する。

3 閉会